

(仮称)赤羽東地区ブロック協議会

協議会だより

第1号
(平成15年9月発行)

《事務局》
教育委員会事務局
教育改革担当部
(電話) 3908-9271
(Fax) 3906-8755
(eメール)
k-kaikaku@kitacity.jp

赤羽東地区の教育環境を考える協議会がスタートしました

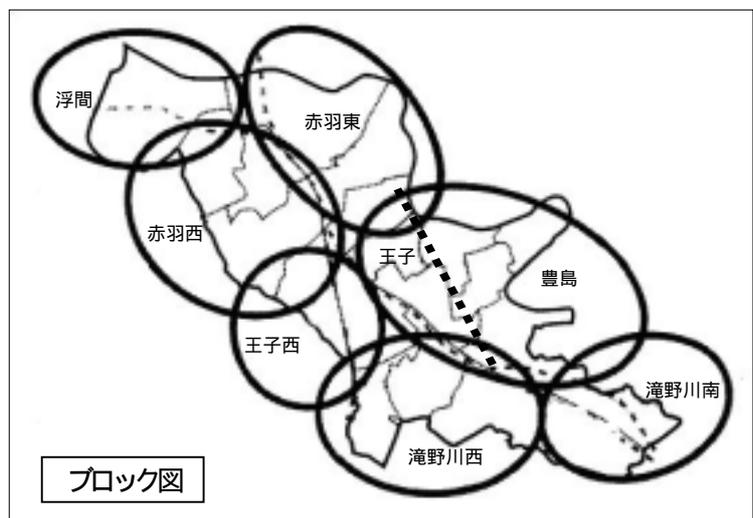
8月21日(木)赤羽会館にて、第1回協議会を開催し、下記の事項を検討・審議のうえ協議会が発足しました。

- 1) 協議会の設置要綱が承認されました。
- 2) 協議会は、小中学校PTA会長、町会自治会長、小中学校長の計41名で構成します。
- 3) 協議会に幹事会を設け、構成は事務局に一任することとしました。
- 4) 座長は、幹事会で決定することとしました。
- 5) 協議会・幹事会とも公開とし、どなたでも傍聴できることとしました。

協議会とは

学校適正規模等審議会(第二次)答申を踏まえ、北区全体を7ブロック8地区に分け、各地区に協議会を設けることとしました。

本協議会は、赤羽東地区(赤羽中・岩淵中・神谷中・赤羽小・岩淵小・なでしこ小・第四岩淵小・神谷小・稲田小の通学区域)の地区全体で教育環境の整備 学校の適正配置 新しい学校づくり 等を考えていきます。



次回日程は事務局までお問合せください。

詳細は北区ホームページ (<http://www.city.kita.tokyo.jp/kyouiku/kaikaku/index.htm>) をご覧ください。

協議会資料は事務局および関係各校にございます。

赤羽東地区教育環境整備協議会

協議会だより

第2号

(平成16年4月発行)

《事務局》

教育委員会事務局

教育改革担当部

(電話) 3908-9271

(Fax) 3906-8755

(eメール)

k-kaikaku@city.kita.lg

.jp

赤羽東地区の望ましい中学校数を検討しています

検討内容

幹事会では、赤羽東地区の中学校3校(赤羽中、岩淵中、神谷中)を1校にした場合と2校にした場合(A案:赤羽中+岩淵中・神谷中、B案:赤羽中+神谷中・岩淵中、C案:岩淵中+神谷中・赤羽中)の利点、問題点について検討しています。これまでに出示された主な意見は以下のとおりです。

まだ一定の方向性は見えていません。さらに赤羽東地区の望ましい中学校数について、検討を深めていきます。

【1校にした場合】

利点:選択科目や部活動の選択幅が増える。人間関係が広がる。など

問題点:通学距離が長くなる。目が行き届かなくなる。生徒数に見合った施設の確保が難しい。など

【2校にした場合】

利点:通学上の安全確保がしやすい。一人ひとりに目が行き届く。施設にゆとりができる。など

問題点:多様な人間関係を経験することによって築かれる社会性を育みにくい。など

開催経過

第1回全体会(平成15年8月21日)

第1回幹事会(平成15年10月21日)座長選出、今後の進め方について

第2回幹事会(平成15年12月16日)今後の検討に向けて

第3回幹事会(平成16年1月29日)1校案及び2校案の比較検討について

第2回全体会(平成16年3月10日)

詳細は北区ホームページ(<http://www.city.kita.tokyo.jp/kyouiku/kaikaku/index.htm>)をご覧ください。

協議会資料は事務局および関係各校にございます。

赤羽東地区教育環境整備協議会

協議会だより

《事務局》

教育委員会事務局

教育改革担当部

(電話) 3908-9271

(Fax) 3906-8755

(eメール)

k-kaikaku@city.kita.lg.jp

第3号

(平成17年2月発行)

平成15年8月に第1回赤羽東地区教育環境整備協議会を開催して以来、1年半にわたり中学校の適正配置について検討を重ねてきました。1月27日、第3回協議会全体会において、これまでの経過を踏まえた「協議会方針」が確認、了承されました。

協議会方針

- 1 赤羽中学校、岩淵中学校、神谷中学校の3校を閉校し、新たに2校を再配置する。
- 2 新たな2校は、現在の岩淵中学校と神谷中学校の位置に配置することが望ましい。

適正配置の実施時期については、検討に至っていない。

(開催経過)

第1回全体会(平成15年8月21日)

学校適正規模等審議会答申報告 ブロック協議会の基本的な考え方
赤羽東地区の現状について 今後の運営について

* 協議会だより第1号発行(9月)

第1回幹事会(平成15年10月21日)

協議会設置要綱について 座長選出: 荒木麟太氏
今後の進め方について: 幹事会を設ける。

第2回幹事会(平成15年12月16日)

今後の検討に向けて
中学校の校数シミュレーション等の資料をもとに、意見交換を行う。

第3回幹事会(平成16年1月29日)

1校案及び2校案の比較検討について
3つの中学校を1校としたとき、2校としたときのメリット・デメリットについて
比較検討を行なう。

第2回全体会(平成16年3月12日)

* 協議会だより第2号発行(4月)

【裏面あり】

第4回幹事会（平成16年6月21日）

望ましい学校数について

第5回幹事会（平成16年8月3日）

望ましい学校数について

2校案を前提に検討を深めること、3校とも閉校して新たな2校を設置すること、を幹事会の確認事項とする。

第6回幹事会（平成16年10月26日）

望ましい学校配置について

最も現実的な方策と考えられる既存3校の位置について、比較検討を行う。

第7回幹事会（平成16年12月6日）

望ましい学校配置について

現在のところ、現岩淵中と現神谷中の位置に配置することが最も望ましい、とする方向を確認。

第3回全体会（平成17年1月27日）

今回の協議会方針をもって、この協議会は、一応締めくくります。

この地域のこれからの子どもたち、これからの学校を考えたとき、

果たして、このままでよいのか。どのような形が最も望ましいのか。

必ずしも、議論はスムーズではなく、時に混乱もしながら、

「3校を閉校、2校を新設。位置は現岩淵中の位置と現神谷中の位置」という方針をまとめることができました。

今後は、他の地区の検討状況も踏まえ、

しばらくは行政内部で検討されるとのこと。

長い期間、熱心にご検討くださった委員の方々、

ご協力くださった学校関係者や町会自治会の皆様には、

座長として、心からお礼を申し上げます。

ありがとうございました。

赤羽東地区教育環境整備協議会

座長 荒木 麟 太

詳細は北区ホームページをご覧ください。

(<http://www.city.kita.tokyo.jp/kyouiku/kaiikaku/index.htm>)

協議会資料は事務局および関係各校にございます。